

神功小学校保護者説明会にて出された質問・回答等要旨(平成31年2月21日開催)

○ 規模適正化全般に関して	回答
1 右京小学校保護者説明会での反応はどうだったのか。	施設一体型小中一貫校に対する疑問や新設する校舎案等について質問や意見をいただいた。今後、疑問点を解消しながら、地域住民や保護者の皆様の意見も参考に、良い学校をつくっていかねばと思う。
2 検討協議会を各小学校区で作り、さらに合同の協議会で会議をしていると時間がかかる。ワークショップのような形で開催してはどうか。	地域住民や保護者の皆様の意見や要望を取り入れて進めていくことはこれまでと同じだが、地域により実情が異なるので、臨機応変に対応していく。平城西中学校区にとって一番良い形で行っていかねばと思う。
3 反対意見を持っている人に対してどう対応していくのか。	施設一体型小中一貫校のメリットや跡地利用について、多くの質問や意見をいただいた。このことについては、市長部局と連携しながら進めているところである。反対されている意見を一つ一つ聞きながら、我々の説明不足であるところはしっかりと説明をさせていただく。1人でも多くの賛成を得られるように、説明を尽くしていく。
4 神功地域としては統合再編に大多数が賛成であると思うが、説明会は必要なのか。	説明会を通して、様々な意見をいただくことも必要だと考えている。
○ 小中一貫校に関して	回答
5 中学校への進学について、私立校を受験したり、他校に進学する児童もいると思うが、小中一貫校になることによって中学校の魅力がどれくらい増すのかが大事だと思う。	中学校の魅力ということについて、中学生のリーダーシップが発揮されたり、学習面においては、小学校時の生徒の情報があるので、中学校に進学しても、スムーズに学習することができる。また、富雄第三小中学校を例にすると、小中一貫校になる前では、校区の中学校に進学する割合は約85%で、約15%が私立に進学していた。しかし、小中一貫校になって、私立に進学する割合が半減した。保護者や地域住民からの、富雄第三小中学校への信頼が増すようになったからだと思っている。
6 中学校の少子化が深刻であると聞いた。長期的展望についてはどのように考えているのか。	施設一体型の学校施設の魅力や、教育そのものの魅力が感じられれば、保護者と子どもは、平城西中学校への進学を選択していただけたらと思う。地域住民や保護者の皆様だけでなく、子どもたちの知恵も出し合って、魅力ある学校をつくっていくことにより、他地域からの転入も期待できると考えている。また、学校規模適正化後期計画は、中学校区別で平成32年度までの5か年計画で進めている。平成32年度以降については、それぞれの中学校区の児童生徒数を見極めながら、計画を立てていくことになる。
7 予算等について、今後のスケジュールはどうなるのか。	平城西中学校区の施設一体型小中一貫校に対する設計予算について市議会に認めていただければ、平成31年4月から設計の入札等の準備にとりかかっていく。これまでの例でいくと、それぞれの小学校区ごとに、地域、保護者、学校などの関係者による検討協議会を立ち上げていただく。そして、その事項を一つにとりまとめられるような合同の検討協議会も立ち上げていただいている。その中で施設や校名や校章、校歌などの要望や意見を集約していただき、予算等の制約はあるが、反映していくことになる。設計ができあがれば、工事にかかる予算を要求していく。議会で予算が通れば、平成32年度に工事を開始し、平成33年4月に開校予定である。
○ 施設に関して	回答
8 新校舎について具体的に意見が反映できたり、工事の工程等の説明があると、なおよいと思う。	設計予算が市議会に認めていただければ、今後、具体的な話ができるようになると思っている。
9 校舎設計等に意見を言えるとすればいつ頃か。	通常、設計にはおよそ9ヶ月かかる見通しである。皆様の意見を聞く期間を長く設けることも、もちろん可能だが、そうなると開校が遅れていくことになる。このことについても説明を行い、ご意見をいただきながら進めていきたい。
10 クラス数などの意見は、早くから言わないと反映されないのか。	クラス数や校舎の規模については、児童数の推計に基づき市が決めることになる。
11 校舎設備について、保護者や地域は具体的な要望が出せないのか。	奈良市立の学校によって大きな違いが出る施設にすることはできないが、予算等の制約がある中で、できるだけ工夫を行い、少しでも良いものにしていくために、様々な意見をいただきたいと思っている。
12 神功こども園ができる時、予算がないという理由で当初の計画とは違うものになった経緯があった。今回は計画通りにいくのか。	教育委員会が予算を提案しても、奈良市全体の予算を考慮した上で市議会に予算提案し、審議いただくことになる。

神功小学校保護者説明会にて出された質問・回答等要旨(平成31年2月21日開催)

意見・要望

- 1 神功小学校保護者は皆賛成なので、説明会に参加する人数が少ない。5月のPTA総会であれば、参加人数は多いと思う。
- 2 神功小学校PTAでは、会報で保護者の方に統合再編の進捗状況をお知らせしている。その中で、意見があれば教えてほしいとしているが、反対の意見をいただかない。統合再編を進めてほしいという前提で、資料を受けとっていると思っていただいても良いと思う。
- 3 神功こども園の保護者からは、自分たちの子どもには新しい小中一貫校に通わせたいので、統合再編には賛成との声を聞く。また、どちらでもいいとの意見は聞いても、反対の意見を聞いたことがない。
- 4 検討協議会について、大きな事項ではなく、例えば、施設についてと内容を限定的にし、その点について協議していくようにするのはどうか。そうしないと、議論が振り出しに戻ってしまって成り立たないのではないかと。検討協議会をこの1年でやっていくのはとても難しいと思う。
- 5 神功ではあっさり受け入れられることも、右京では全く違うことになることもあるだろう。
- 6 子どもはこの2年間でワクワクした気持ちで過ごしている。子どもにとっては楽しみだと思う。
- 7 小学校5、6年生になってくると、私立に進学させたいと思う保護者も増えてくる。このまま何もしなければ、中学校の先細りは目に見えている。そうすると、他の中学校との統合再編となりかねず、人数の多い学校に吸収されるかもしれない。そうならないよう、今統合再編し、小中一貫校をつくって、魅力あるものにするべきであると思う。
- 8 平城西中学校を卒業した子どもがいる。現在でも平城西中は魅力ある学校だと思う。小中一貫校になればより魅力ある学校になると思うし、通わせたい親もいる。家計的にも小学校から高校まで公立に通わせたい親は多い。
- 9 過去の小中一貫校の事例で、よかったところを反映させてほしい。
- 10 統合再編校や跡地活用についての検討委員会を立ち上げた場合、また両地域が揉めるのではないかと。限られた時間の中、今すぐに両地域で意見をまとめるのは難しいと思う。